

フィリピン土木学会(PICE) 年次大会参加報告

伊東淳 (早稲田大学セーバース)
中埜良昭 (東京大学生産技術研究所)

松島格也 (京都大学大学院)
濱田政則 (早稲田大学)

土木学会(JSCE)と協力協定を締結しているフィリピン土木学会(PICE: Philippine Institute of Civil Engineers)からの招聘を受けて、2008年11月27日、29日にミンダナオ島・カガヤンデオロシティ(Cagayan de Oro: Golden Friendship City)におよび開かれたPICE 34th National Conventionに土木学会より以下4名が参加した。11月27日に松島格也(京都大学准



写真1 大会の様相

教授、国際委員会委員兼幹事)、11月28日、29日に濱田政則(早稲田大学教授、元土木学会会長)、伊東淳(早大セーバース)、11月29日に中埜良昭(東京大学教授)がそれぞれ参加した。

開会式(11月27日)

開会式はカガヤンデオロ市内中心地のLimketkal Centerで行われ、その内容は、Willy T. GO会長によるPICEの活動報告、松島を含めた5名によるDebate of the Day "Civil Engineers Need More Public Relations"、フィリピン建設協会の会長であるAnthony L. Fernandez氏による特別講演が行われた。

ラウンドテーブル(11月27日)

参加したプログラムを通じて一貫して議論されていたのは、一般市民との関係、および技術者に対する資格審査についての話題である。松島が話題提供者として、またラウンドテーブルのメンバーとして参加したDebate of the Dayにおいては、



写真2 Debate of the Dayの様相(右端が松島)

土木技術者がいかに一般市民とかわかっていくべきか、専門性をもった土木技術者にとってアカウンタビリティの示し方はどうあるべきか、といった内容について非常に活発な議論がとり行われた。また、会長による資格制度設立に向けた報告のあとの質疑応答では、参加者からどういった方針で進めるべきかについて、どのような分野分けを想定しているのかなどについて多数質問があり、関心の高さをうかがわせた。

現在、わが国においてもパブリック・インボルブメントや技術者資格試験の重要性が認識されつつあるが、ところ変わってフィリピンにおいても非常によく似た議論がなされていることが驚きでもあり、またとても興味深い話だと思った。今後こう



写真3 PICEから感謝状を授与される濱田元会長

いった分野や関連した研究についての日本-フィリピン間の交流も積極的に行っていくのではないだろうか。

フェロシップナイト(11月27日)

そして懇親会Fellowship Nightもある。聞くところによると、フィリピン全土から2500名以上が参加していた。食事はフィリピン・ビサヤ地方の料理が中心で、盛りだくさんのシーフードであった。踊りあり、歌ありの楽しいひとときを過ごした。

招待講演(11月28日~29日)

PICEの依頼によって2008汶川地震報告を中心に招待講演を濱田、伊東、中埜の3人が行った。

1. The 2008 Wenchuan Earthquake

in China and International Cooperation on Earthquake Disaster Mitigation

講師：濱田政則

講演内容は、①世界的自然災害の増加、②2008汶川地震および岩手宮城内陸地震報告、③地震災害軽減について、特にJ S C Eのスマトラ地震・津波についての国際技術協力および8学会四川大地震復旧技術支援連絡会議による国際技術協力について報告した。

2. Slope Failures and Quakesakes Caused by the 2008 Wenchuan Earthquake

講師：伊東淳

講演内容は、①汶川地震の概要および地質学的概要、②地震による地すべり、③地すべりの力学的考察、④地震湖の概要、⑤抑止工について報告した。

3. Building Damage due to 2008 Sichuan (Wenchuan) Earthquake and Cooperative Activities on Damage Restoration by Japanese Experts

講師：中埜良昭

講演内容は、①汶川地震による建築被害、②損傷を受けたビルの調査方法、③ビルの損傷の種類、④補修・補強方法、について報告した。

いずれの講演も活発な質疑応答

土木学会の動き



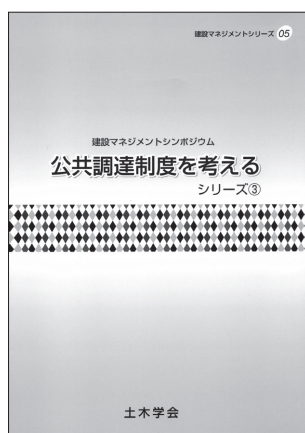
写真4 熱心に受講するフィリピン大学の学生

があり、地震災害の関心の高さがうかがわれた。

フィリピン大学 (University of the Philippines) における地震工学特別講義

P I C Eの年次大会のあと、12月2日にフィリピン大学の依頼により濱田、中埜、伊東がフィリピン大学 Melchor Hall, Engineering Theaterで特別講義を行った。特別講義のタイトルは「Recovery & Reconstruction after the Wenchuan, China Earthquake of 2008」で、約200人の学生が熱心に受講した。

土木学会の本



建設マネジメントシリーズ 05 公共調達制度を考える シリーズ③

わが国の公共調達制度は、現在大きな変革期を迎えています。建設マネジメント委員会では、公共調達の問題を重要なテーマとして、継続して調査研究活動を実施してきました。本書は、建設マネジメント委員会が平成19年度に主催した建設マネジメントシンポジウム～公共調達制度を考える～の第9回から第12回を取りまとめたものです。(1) 出来高部分払い方式の導入について、(2) 地方における公共工事執行のあり方について、(3) 公共調達方式の国際比較、(4) 全体討論、をテーマに現状の課題や制度再構築のための視点について議論された内容がそれぞれ整理されています。今後の公共調達制度の再構築のための検討に活用していただくことが大いに期待されます。

- 編集：建設マネジメント委員会 公共調達制度研究特別小委員会(委員長：東京大学・小澤一雅)
- 2008年12月発行、A4判、218ページ、並製本
- 定価：2,625円(本体2,500円+税)→**会員特価：2,370円**
- 送料：470円

ISBN 978-4-8106-0666-9

注文・
問合せ先

(社)土木学会 出版事業課 書籍販売係
TEL 03-3355-3445 / FAX 04-2946-0969

■Web注文 <http://www.jsce.or.jp/publication/>
■FAX注文 学会誌縦込み「図書注文書」をご使用ください

丸善(株) 出版事業部
TEL 03-3272-0521 / FAX 03-3272-0693